

## 「労働災害発生状況報告(全期分)」及び「死傷月報」記入要領

1. 労働者数は、各月ごと(締め日等でよい)の人数で記入して下さい。
2. 操業日数は「実稼働日数」を、また、延労働日数は「1日の実労働者数を1ヶ月(実稼働日数)合計したもの」を記入して下さい。
3. 延労働時間数の小数以下は切り捨てて記入して下さい。  
(例) 20人×8時間×操業日数+残業時間合計=1月分 12ヵ月分の合計
4. 死傷件数(災害発生件数)は、発生した月の欄のみに記入して下さい。  
\* 翌月に休業がまたがった場合も同様
5. 休業延日数・損失日数・度数率・強度率は、発生した月の欄のみに記入して下さい。  
\* 翌月に休業がまたがった場合も同様、死傷月報については見込で記載する。  
\* 翌月分に記入しないこと。

### 6. 災害統計

度数率 \* 100万延労働時間当たりの労働災害による死傷者数をもって表したものの。

度数率 = 災害発生件数 / 延労働時間数 × 1,000,000 \* 小数第1位まで記入

強度率 \* 1,000延労働時間当たりの労働損失日数をもって災害の重篤度を表したものの。

強度率 = 総損失日数 / 延労働時間数 × 1,000 \* 小数第2位まで記入

損失日数 = 休業延日数 × 300 / 365 \* 小数以下は切り捨て

\* 休業延日数とは土日祝日も含んだ休業日数

身体障害を伴うものは、障害等級別損失日数(下表)の損失日数を算入すること。

\* 障害等級が未決定の場合は見込でよい。

障害等級別損失日数 (上欄:死亡・等級、下欄:損失日数)

死亡	1~3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
7500	7500	5500	4000	3000	2200	1500	1000	600	400	200	100	50